

平成 3 0 年 6 月
第 4 回清水町議会定例会一般質問事項

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
3		北 村 光 明	1 清水町人口ビジョン・総合戦略の推進について 人口減少社会に向かって、地域の再編活性化が必要である。地域振興にマイナスと思えるものも視点を変え資産としながら、安定した雇用と新しい人の流れをつくる必要がある。 平成 27 年作成の「清水町人口ビジョン・総合戦略」に基づく今後の総合的な計画について伺う。 (1) 地域経済分析システム（RE S A S）の分析はどう生かされているか。 (2) 今後は外部に向けて、計画の「見える化」と戦略的な広報活動が必要ではないか。 (3) 十勝清水駅周辺の空き家とホテルのリノベーションにより活性化を図ることはできないか。 2 会計年度任用職員制度について 2017 年 5 月 17 日、地方公務員法・地方自治法の一部を改正する法律の公布により、会計年度任用職員制度の導入が必要となった。これまでの臨時・非常勤職員制度の見直しが必要となることから以下について伺う。 (1) 本町の臨時職員・非常勤等職員の数と全職員との比率はどうなっているか。 (2) 制度導入に伴う労働条件の変更点は何か。 (3) 今後のスケジュールについて伺う。 (4) 業務の継続性と雇用の継続の考え方について伺う。制度導入に伴う「雇い止め」はあるのか。 (5) 現状は女性比率が高いと思われるが、課題はあるか。

質 議	問 席 氏	者 名 事 項
		3 データヘルス計画（保健事業実施計画）について 本年3月策定の第2期保健事業計画（データヘルス計画）について伺う。 (1) データ分析はどのような体制で行ったのか。 (2) データ分析対象の医療保険は何か。 (3) 第1期計画からわかる重点疾病及び課題は何か。 (4) PDCAサイクルは、具体的にどのように行うのか。 4 住民自治組織とごみの収集等について 本町のごみの分別収集はごみステーションへの搬入が基本である。新規の移住者に対するルールやマナーの啓蒙・周知について伺う。 (1) 町内会等自治組織に未加入者がいる場合の対応について伺う。 (2) 企業が建設する社員アパート居住者のごみステーションの管理について伺う。 (3) 町内会未加入の社員アパート居住者に、ごみ収集や広報配布などのための自治組織をつくってもらうよう働きかけることはできないか。 5 東京・札幌・帯広清水会との交流連携について 東京・札幌・帯広清水会の活動で清水町との交流がされているが、今後の交流連携について伺う。 阿部町長としてどのような戦略を持っているのか。 関係人口の拡大について、清水会との交流は有効であると思うが、期待するものは何か。

質 議 席	問 者 氏 名	質 問 事 項
1	大 谷 昭 宣	1 バイオガスプラントの推進について 本町の生乳生産量は、2017 年度（平成 29 年度）は 12 万トンを超え、J A 別で管内トップとなり、今年度の生産量は更に増える見込みである。 今後も安定的な生乳生産と持続可能な酪農を行う上で、適正なふん尿の処理を行うことが求められている。 バイオガスプラントは臭気を大幅に低減でき、肥料価値の高い消化液を作ることができるとともに、バイオガスを利用し、発電・売電もできることから、現在多くの地域で注目されている。 本町においても昨年 4 月、酪農家と J A が共同出資でバイオガスプラント会社を設立するなど、今後もこういった施設の建設の動きが増えるものと考えているが、多額な設備費用と運営経費が課題である。 バイオガスプラントの推進に対する町の考えを伺う。

質 議 議 席	問 氏 氏	者 名 事 項
7	原 紀 夫	1 本町独自の無料学習塾づくりについて 子どもの貧困対策に取り組む公益法人が以前、低所得世帯の保護者の7割が経済的理由から子どもの塾通いや習い事を諦めているとのアンケート結果を公表したことがある。世帯の年収も調査し、年収は手取りで約139万円（中央値）、生活保護など諸手当を含めても約203万円に留まり、生活の厳しい実態が浮き彫りになった。子どもからは「父の障害年金だけでの生活で家庭がこんなに苦しいと初めて気づいた」と切実な声が寄せられたという。（アンケートは3,200人中1,500人回答） 文部科学省が実施した「全国学力・学習状況調査」では、年収が高い家庭の子どもほど教科の平均正答率が高い傾向が明らかになっている。このデータにより「貧困の低学力」「貧困の世代連鎖」といった問題がはっきりと認識され、低所得家庭に対する通塾費の補助や無料学習塾などの取り組みが各地で実施されている。 さて、このことについて本町に目を向けると、私は2年前の6月定例会において無料学習支援事業の実施について質問した経緯があるが、清水高校のこれまでの校長と対話する中で、本町の子どもの学力低下を危惧する発言があり、小学校や中学校での基礎学力を身に付ける重要性を再認識し、以下のことについて提案し、考えを伺いたい。 本町採用職員は近年、大学卒業者を受け入れており、優秀な職員も多いと考える。この職員を中心とし、元教員や社会経験の豊富な一般職員を含めた中で指導体制を構成し、授業についてこられず落ちこぼれていく生徒を個別指導で学力を伸ばすことはできないか。そのことが清水高校振興にもなり、加えて、大卒職員は清水町出身者が少ないため、広く町民を知ることにもなり、自らの業務にも好影響を生み出すことになるかと考えるがいかがか。

質 議	問 席 氏	者 名 事 項
		2 清水公園の再開発について 前町政時から、本町の観光資源の再生とともに、情報発信拠点の整備に向けて策定された観光資源再生基本計画はペケレの森を含む一体の計画であると以前から説明していたが、予期せぬ大災害により、阿部町政になってからは道の駅など新たな大規模施設にはこだわらず、清水公園の既存施設や事業を活用して道の駅が持つ機能を確保することを目的に本町独自のスタイルで整備を目指す旨の説明をしており、担当課において現在種々検討中とのことであるが、以下について伺う。 (1) 計画完了年数は何年を目途としているのか。 (2) 資金計画についての基本的な考えは。 (3) 既存施設への進入路については以前から提起しているが、どのような考えか。 (4) 交流人口を町内へ導くには相当の困難が伴うと考えるがいか (5) 計画には担当課以外の町民意見や職員意見も幅広く聴き取る必要があると考えるがいか 3 特別職等職員報酬の改定について 本町の特別職等の報酬については、平成 17 年 4 月 1 日以降改定されておらず、平成 20 年 3 月 21 日に開催された特別職報酬等審議会でも管内の人口規模及び産業構造などから見直すべきとの意見もあったが、財政状況等から現行報酬額が適正と決定されている。 平成 17 年以降 13 年経過した十勝管内の報酬の状況を見ると、18 町村中 2 町 2 村が若干本町より低位にあるが、他の 14 町は本町より高位にあり、議員職においても同様の状況にある。 過日、清水地区と御影地区において議会報告会を行い、町民意見を聴取し、種々の意見をいただいたところである。 町長自らの報酬について意見は述べづらいと考えるが、この際、良識ある町民による審議会を立ち上げていただき、意見を求める必要があると考えるが町長の考えを伺う。

質 議	問 席	者 氏	事 項
5	佐藤幸一	1 看板等の管理について 町が設置する看板の塗装剥離や街路灯の支柱のさびなど見苦しい箇所がある。現在、点検をどのように行っているのか。 定期的に点検を実施し、改修すべきではないか。 2 新生児聴覚スクリーニング検査費用の公費負担について 生まれてすぐの赤ちゃんに難聴の疑いがないか調べる「新生児聴覚スクリーニング検査費用」の全額を公費負担する考えはないか伺う。 3 清水高等学校の支援について 今年の入学者数は97人になったが、来年度も今年のような入学者数だと、1間口減の3間口になる可能性が大きい。 4間口維持のため、町としてどのような対策を考えているのか伺う。	

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
4	高 橋 政 悦	氏	1 本町の財政構造と今後の財政見通し 歳入歳出の特徴的構造及び歳出の目的別構造、債務残高等の現状を踏まえ、昭和 40～50 年代に整備した公共施設等の老朽化、大量更新期が到来している。 平成 34 年度までの中期財政推計の説明を受けたが、人口推計、医療や介護保険にかかる社会保障関係費の見通しを鑑み、更に長期的な財政健全化をどのように考えるのか。 また、本町が進めようとするまちづくりの実現に必要な投資財源の確保はどのように考えるのか。 2 清水町体育館の整備見通しについて 少子高齢化が進展し、人口減少を少しでも食い止める努力がされとしても減少は避けがたいと予想される中、市街地が無秩序に拡散していくこと（スプロール化）は、まちを維持するコストの増大を招き、持続可能な運営ができないと思える。 本町においては、少なからずスプロール化が起きていることは明らかであるが、「スプロール化」という言葉そのものをどう整理しているのか。 また、今後の望ましいまちづくりの方向として「コンパクトシティ」という考え方を持っているのか。 その考えのもと、清水町体育館の整備に対し具体的な構想はあるのか。 また、本年 3 月に改訂された清水町耐震改修促進計画の中で、公共建築物のうち優先的に耐震化に着手すべき建築物の中に体育館は入っているのか。その具体的な検討の過程すら見えない状況で、町民が安心して運動できる環境を提供していけるのか考えを示してほしい。

質 議	問 席	者 氏	事 項
9	中 島 里 司	1 出先機関における危機管理について 災害が発生した場合、本部体制は整っていると思うが、現場（出先・委託施設）の体制・役割について問う。	

質 議	問 席	者 氏	名	質 問 事 項
11	安	田	薫	1 生産性の高い農地の整備について 一昨年の台風大災害から素早い復興で、農地はほぼ生産できるようになった。十勝全体では 297 ヘクタールと言われているが、本町の実態を踏まえて次の点について伺う。 (1) 安定した生産の確保と農作業効率が上がれば経営も良くなる。戸別の努力以外での圃場の整備事業等は今までいろいろな事業を行ってきたが、本町全体を見たとき、他町と比べると整然としていない（四角になっていない）箇所が見られる。今後の整備計画について伺う。 (2) 現在、御影の大和・常盤地域で行っている河川敷払下げに向けた雑木処理について、その後の整備に補助事業等があるか、その対応策について伺う。